

平成26年 第8回

教育委員会定例会会議録

平成26年8月6日

中央区教育委員会

平成26年第8回教育委員会定例会会議録

開会日時 平成26年8月6日(水) 午後2時00分
場 所 中央区役所6階会議室
出席委員 中央区教育委員会委員長 松川昭義
委 員 鈴木ゆか
委 員 竹田圭吾
委 員 窪木登志子
教育長 齊藤 進

説明のために出席した事務局職員

次 長 坂田直昭
庶務課長 林 秀哉
副 参 事 斎藤公一
学務課長 伊藤孝志
指導室長 佐藤 太
副 参 事 吉野達雄
統括指導主事 宮崎宏明
図書文化財課長 俣野修一

書 記 中央区教育委員会事務局
庶務係長 藤掛和幸
庶務係員 原田千恵

開 議 午後2時00分松川委員長開会宣言
会議規則第30条による署名委員

委員長 松川昭義
委 員 窪木登志子

- 日程第1 議案第28号
平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
(平成25年度文)の結果に関する報告書の作成について
- 日程第2 議案第29号
全国学力・学習状況調査結果の公表について
- 日程第3 議案第30号
中央区立中学校において平成27年度に使用する教科書の採択について
- 日程第4 審議事項

中央区立小学校において平成 27 年度から使用する教科書の採択について

追加日程第 1 議案第 31 号

中央区立小学校において平成 27 年度から使用する教科書の採択について

追加日程第 2 議案第 32 号

中央区立小学校及び中学校の特別支援学級において平成 27 年度に使用する教科書の採択について

日程第 5 報告事項

各課からの報告について

委員長　それでは、ただいまから、平成26年第8回教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、本日の会議録の署名委員を指名いたします。本日は窪木委員をお願いいたします。

窪木委員　はい。

委員長　それでは、本日の日程に入ります。

日程第1、議案第28号を議題といたします。議案第28号を書記、朗読願います。

(書記朗読)

委員長　それでは、次長、提案説明をお願いします。

次長　議案第28号「平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(平成25年度分)の結果に関する報告書の作成」について、提案説明。

委員長　ただいま次長から説明がありました。厚い資料ですから、短時間で説明をいただくのは難しいかと思いますが、ただ今の説明について、いかがでしょうか。

窪木委員　事前に拝見させていただきましたが、ただ今説明のありました有識者2人も非常によく評価してくださっておりますし、このまま議会に提出してよろしいのではないかと思います。

委員長　ほかに質問等ございますでしょうか。質問はないようなので、本案を可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長　ご異議ないものと認めます。よって、議案第28号は原案のとおり可決されました。

次に、日程第2、議案第29号を議題といたします。

議案第29号を書記、朗読願います。

(書記朗読)

委員長　次長から提案説明をお願いします。

次長　議案第29号「全国学力・学習状況調査結果の公表」について、提案説明。

委員長　ただいまの説明について、ご質問等ございましたらお伺いいたします。

竹田委員　調査結果の公表の仕方については、特段異議はございませんが、公表すべきかどうかという話し合い、意見交換をした中で、ここにも調査結果に基づき学校のほうで授業改善プランを作成していくという記載がありますが、公表しないという一方で、調査結果の内容については従来以上に積極的に授業改善あるいは児童の学力の向上に学校の現場で活用していくということが、今回の意見交換で教育委員と校長先生方あるいは保護者の方に伺いましたが、

それが共通認識だということを一応ここで確認できたらと思うのですが、それでよろしいですか。

指導室長 委員ご指摘のとおり、授業改善にしっかり役立てるということで、今後、9月以降ですけれども、校長会等、きちんと伝える中で活用させていただくということで取り組んでいきたいと思っています。

竹田委員 ありがとうございます。

委員長 ほか質問等ございますでしょうか。

ないようですので、本案を可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、議案第29号は原案のとおり可決されました。

次に、日程第3、議案第30号を議題とします。議案第30号を書記、朗読願います。

(書記朗読)

委員長 次長から提案説明をお願いします。

次長 議案第30号「中央区立中学校において平成27年度に使用する教科書の採択」について、提案説明。

委員長 ただいまの説明についてご質問等ございましたら、お伺いいたします。

私から1点質問させていただきます。4年間同じ教科書を使うということになりますが、途中で何か問題が指摘されたような場合には改めて審議をするということになるのですか。

指導室長 基本的に、法定では同じ教科書を4年間使用するというごさいます。その中で、今年度に関しては問題がないという報告を学校からいただいております。その点を踏まえて、ご審議をよろしくお願いしたいと思います。

委員長 わかりました。

ほか質問等ございますでしょうか。

ないようですので、本案を可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、議案第30号は原案のとおり可決されました。

次に、日程第4、中央区立小学校において平成27年度から使用する教科書の採択について審議をいたします。

この教科書採択に当たりまして、教育委員会では「中央区教科書採択実施要綱」に基づき、「教科書についての調査研究が十分行われるように配慮し、その結果を踏まえて、公正かつ適正に採択を行う」との基本方針のもと、学識経験者や保護者及び学校の代表者による教科書選定委員会を設けるととも

に、その下部組織として現場の先生方による教科書調査委員会を設置いたしました。

そして、去る7月14日に教科書選定委員会から答申をいただき、それ以降、その答申内容はもとより、教科書調査委員会からの報告、東京都教育委員会が作成した「教科書調査研究資料」、そのほか「教科書センターに寄せられた意見」や「学校からの意見」などの資料をもとに、直接教科書を当たりながら勉強会を開くなど、調査研究を重ねてまいりました。

さて、議事の進行についてでございますが、各教科ごとに私から各委員に指名をさせていただきますので、各委員からはそれぞれ推せんする発行者とその理由を述べていただき、複数の発行者について推せんがあった場合には、原則として多数の意見を採用する方法を進めてまいりたいと存じますが、それでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長

ご異議ないようですので、そのように進めてまいります。

それでは、初めに、国語についてご意見をいただきたいと存じます。

まず、鈴木委員からお願いいたします。

鈴木委員

「光村図書出版」を推せんします。

季節を意識した教材を「季節の言葉」として掲載し、日本の四季を題材にして言葉や詩を学んだり、カードや感想文を書いたりすることができるところがいいと思います。全ての児童にとって使いやすいように、学習するところの重要な内容は判別しやすく色や太さ、線などで囲んで目立たせたりしていますし、見出しも工夫している、例えばゴシックフォントの字体として工夫しているところがいいと思いました。以上です。

委員長

次に、竹田委員、お願いします。

竹田委員

私も「光村図書出版」を推せんします。

全体的に、内容構成も題材も癖がなく、教材としてはフラットのように思います。個々の児童の個性を刺激するには、こういった教科書が適しているように感じます。異なる学年の間で発展的な学習につなげているかどうかという点においても、他社のものに比べて工夫されていると感じました。特に、話すこと、聞くことという内容の部分で、話し合いの様子が肯定と否定に分かれて表現されていて、非常にわかりやすいと感じました。一般論でもありますが、ほかの一部の教科にも言えることですけれども、教員の年代が若くなっていく傾向が強まっている本区の場合、5年未満が32%を占めるということですから、教師の裁量による部分が大きいものよりは、汎用性が高いもの、癖がなくフラットなもののほうが教材として望ましい傾向にあると思います。その点でも光村図書出版のものに比較優位があると考えます。

以上です。

委員長 次に、窪木委員、お願いします。

窪木委員 私も「光村図書出版」を推せんしたいと思います。

理由としましては、児童の知的好奇心を刺激する読み物が多いこと、多彩なジャンルの教材があること、文学的な教材においても子供たちの身近な内容や想像力を広げて読めることなど、読む力を育む、読みごたえのある文章が多いと思いました。また、日常生活での場面に結びつけて読めるなど、読む楽しさを体験できるとも思いました。さらに、児童に基礎的な力が身につくように、言葉の決まりや漢字を学習後の単元でも繰り返し取り上げている点でも評価できると思いました。以上です。

委員長 次に、齋藤教育長、お願いします。

齋藤教育長 「光村図書出版」を推せんいたします。

全体的に、児童にとって学習しやすい単元構成や学習の流れを示している教科書だと思います。どの学年でも教科書の初めに学習全体を見渡す単元として、聞く、話す、書く、読む、言葉などについて、どこで、どのように学習するかを示されており、東京都教育委員会の調査研究資料からは、説明的な文章で図表や写真を取り上げて読み取りを深める場面が多い点を挙げられております。どの学年も、話すこと、聞くことの言語活動を発達段階において工夫しながら多く学習に取り入れ、話題を広げたり深めたりできる活動が示されている点がすぐれていると感じました。以上です。

委員長 全ての委員が「光村図書出版」をあげられましたので、国語につきましては「光村図書出版」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、国語につきましては「光村図書出版」といたします。

次に、書写についてご意見をいただきます。

まず、竹田委員からお願いいたします。

竹田委員 私は、「光村図書出版」を推せんします。

パソコンであるとかスマートフォンといったものの普及が進む中で、字を手書きで書くことを小学校で習うことは、児童のコミュニケーション能力の基礎固めをするという点で、毛筆や硬筆の技術的な習得以上に深い意味を今後持ってくるのではないかと思います。その点において教員が指導しやすいという評価があると同時に、児童が理解しやすくする工夫や内容の網羅性が高い光村図書出版のものが適切と考えます。以上です。

委員長 次に、窪木委員、お願いします。

窪木委員 私も「光村図書出版」を推せんしたいと思います。

理由につきましては、他社のものも甲乙つけがたいのですけれども、光村図書出版のものは写真や解説などがわかりやすいこと、どの学年も教科書の最初のページに、書く姿勢、鉛筆の持ち方、道具の準備、トメ・ハネなどの復習がしっかり示されていて、書写の学習をやる気にさせるつくりになっているのではないかとと思われることがあります。また、左に手本、右に解説という毎回同じ配置でレイアウトされており、お手本も大きく、字の形が見やすいので、児童にとっても使いやすいと思われました。以上です。

委員長 次に、鈴木委員、お願いします。

鈴木委員 「光村図書出版」を推せんします。

硬筆や毛筆を使用しての学習だけでなく、漢字の組み立てや読みやすい紙面構成、また発達段階に応じて文字への興味・関心を持たせるための工夫がしてある点や、手紙や原稿用紙の使い方の学習もよく示されていて、書写で学習したことを実際の生活で使ったり、また国語やほかの教科で活用できるという点がよいと思われました。以上です。

委員長 次に、齋藤教育長、お願いします。

齋藤教育長 「光村図書出版」を推せんします。

各学年の硬筆、毛筆での学習も適切な分量になって、学習事項も丁寧に掲載されており、大変取り組みやすいと思ったことが主な理由です。特に、硬筆、毛筆の初期段階での指導がとても丁寧で、写真や解説などもわかりやすく、児童の理解を促す工夫がいろいろな箇所に見られ、学習しやすいと思った次第です。以上です。

委員長 全ての委員が「光村図書出版」をあげられましたので、書写につきましては「光村図書出版」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、書写につきましては「光村図書出版」といたします。

次に、社会についてご意見をいただきます。

まず、窪木委員からお願いします。

窪木委員 私は、「教育出版」を推せんしたいと思います。

理由は、これも他社さんと甲乙つけがたいのですけれども、教育出版さんの写真は大きく、学習のねらいに合った資料が効果的に扱われており、児童にとってわかりやすく学習を進められると思われました。また、学習の導入場面でインパクトのある資料を使って児童の興味や関心を引きつける工夫があり、この点を評価しました。例えば、5年の水産業の学習では、魚売り場に並ぶサンマの写真から水産物の学習に入っていきますが、児童の身近で関心のあるところから出発して課題をつかんでいく工夫があり、このようなと

ころが随所に見られるところがよいと思いました。以上です。

委員長 次に、鈴木委員、お願いします。

鈴木委員 「教育出版」を推せんします。

教科書選定委員会の答申にもありましたが、学習の進め方が段階的に示されていて学習しやすい点、扱われている写真や資料が児童の学習意識を高めることができる点がよいと思いました。6年生の「世界の中での日本」での学習は、メジャーリーグなどの現代的な内容で子供の興味のあるものを取り上げているし、貿易や国連などの世界とのつながりを学習するページでは、自分たちの問題としてしっかり考えることができる、そういう点が評価できると思いました。以上です。

委員長 次に、竹田委員、お願いします。

竹田委員 私も「教育出版」を推せんします。

他社と比較して、子供の興味を引く工夫が非常に多くの箇所であまりうまく施されていると感じました。窪木委員のご推せん理由にもありましたように、5年生の水産業の項目で、サンマに特化して生産から加工、流通まで一貫して説明している部分がありますが、これも、こうしたトピックを一般化して説明するよりは非常にわかりやすいと思います。

また、他社と比べた場合に一番印象に残ったのは、外国の紹介において、ステレオタイプに陥らないで現代的な視点が反映されていると感じました。他社のものは、写真が古かったり、写真で紹介している内容が伝統的なもの、あるいは民族的な部分を過度に強調したものがあって、時代の変化というか、現代性という点では、この教育出版のものに比べると、バランスという点でもやや劣るような感じました。また、全体的にも各種の資料や図表が十分かつ細かいものも含めて掲載されていると感じました。以上です。

委員長 次に、齋藤教育長、お願いします。

齋藤教育長 私は「東京書籍」を推せんしたいと思えます。

全体として、資料や写真、グラフ、表などが一番充実しているように感じました。PISA調査からも読み解く力の重要性が言われておりますので、この教科書はさまざまな資料からの情報を読み取って課題を考えていくことに適しているのではないかと評価をしております。また、「つかむ、調べる、まとめる、生かす」と段階的に学習を進めていて、児童が学習したことを深めたり、活用していく工夫がある点もよいと思いました。以上です。

委員長 3名の委員の方が「教育出版」をあげられましたので、社会につきましては「教育出版」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、社会につきましては「教育出版」と

いたします。

次に、地図についてご意見をいただきます。

まず、鈴木委員からお願いします。

鈴木委員

「帝国書院」を推せんします。

日本の年表、また昔の国の地図が同じページに表示してあり、歴史や文化と地理を関連づけて学習することに効果的であると思います。日本列島の地図に示されている尖閣諸島、竹島では、写真としても掲載されておりますし、わかりやすいと思いました。それらの島の説明に、「日本固有の領土」であると明記されています。以上です。

委員長

次に、竹田委員、お願いします。

竹田委員

私も「帝国書院」のものを推せんします。

いわゆるグローバル化というものを考えると、個々の地域だけではなく、日本や世界の全体像あるいはその隣の地域との関連を意識させることが、地図を実際手にとって見てもらうときに重要だと思いますが、その点で帝国書院のものは配置やバランスがいいと感じました。地図を静的ではなく動的に捉えることもこれから重要になってくると思いますが、その点でも全体のページ構成やレイアウトも非常に適切であると思いました。

もう一点つけ加えるものとしては、東京都心部と江戸の対比が帝国書院もごさいますが、本区の児童の場合、他教科の体験学習も含めて最もなじみが深い要素でありますので、この点についても本区の教材として望ましいのではないかと思いました。以上です。

委員長

次に、窪木委員、お願いします。

窪木委員

私も「帝国書院」を推せんします。

理由は、全体的に見やすく、必要な内容が十分に示されていて、大きさもコンパクトで使いやすいと感じました。色調も落ち着いており、見やすいと思います。また、東京都全体の地図が3ページにわたって掲載されており、東京都の学習をする上で、中央区や、また中央区の森がある檜原村との位置関係もよくわかる場所もよいと思いました。以上です。

委員長

次に、齋藤教育長。

齋藤教育長

「帝国書院」を推せんします。

竹田委員のご意見にもございましたが、現在の東京中心部の地図と、ほぼ同地域の江戸の地図が並べて掲載されておまして、本区を含む現在の東京と江戸時代の東京、町とを対比しながら、時代の変遷を理解できる点がよいと思いました。また、このページにはオリンピックの選手村予定地なども示されておりますので、本区の児童にとっても興味を持って学べるのではないかと考えます。以上です。

委員長 全ての委員が「帝国書院」をあげられましたので、地図につきましては「帝国書院」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、地図につきましては「帝国書院」といたします。

次に、算数についてご意見をいただきます。

まず、竹田委員からお願いします。

竹田委員 私は「東京書籍」のものを推せんします。

6社の発行者の教科書を比較して、そのうち数社のものと比べて突出して東京書籍のものがすばらしいと感じた部分は、正直なかつたのですが、個人的には、いわゆる中1ギャップといった問題も一般に指摘される中で、とりわけ算数の場合は、前提として公立学校、公教育でありますので、学習能力が上位の子供の学力を伸ばすよりは、まず平均より下に位置しがちな児童の学力をいかに底上げして、公立中学に上がったときに、いかに数学でつまずかないようにするのが最も重要ではないかと個人的には考えています。本区の場合、傾向分析として、そのためには4年生までの基礎・基本をしっかりと指導することが重要であって、東京書籍のものは習熟度別の学習に適しているという現場の先生方の評価がありましたので、それを確認した上で、東京書籍のものを最も高く評価いたしました。以上です。

委員長 次に、窪木委員、お願いします。

窪木委員 私も「東京書籍」を推せんします。

理由としましては、ほかにもいい教科書だと思うものはあったのですけれども、竹田委員も先ほど言われたとおり、算数については、特に学力の基礎を培う大切さ、それから竹田委員が先ほどおっしゃった教員が若い傾向に本区ではありますので、教員の人たちが使いやすいと思われるものを重視すべきだという視点から東京書籍を推せんします。

また、実際に、東京書籍の教科書は開いたとき大変見やすく、問題に取り組んだり考えたりしやすい紙面のレイアウトになっている点がすぐれていると思います。単元の入り方も工夫されていて、児童の興味・関心を引きつけて導入される点と、問題を解く場面で児童の思考の助けになる考え方やヒントが適切に示されている点もよいと思いました。また、補充問題も習熟度に応じて教えやすい配置になっていると思います。以上です。

委員長 次に、鈴木委員、お願いします。

鈴木委員 「東京書籍」を推せんします。

ノートの書き方を指導するページが充実していると思いました。自分の解き方、友達の解き方、以前に習ったことを振り返るとき、そのときの使い方

が問題を解く過程で大いに役立つことができると思いました。また、コンパス、定規の使い方、ページ下方の写真で操作する手順が見やすく示されており、作図でコンパスなどの使い方も身につけやすいと思いました。図形の学習では、切って使える図形の資料、そういうものが充実していますし、実際に手を動かしながら実感を持って理解していける、そういう工夫ができている点もよかったと思えます。

導入する部分の題材が身近なもの、学校にある下駄箱や本棚、保健室や図書室、そういったものを使って子供にわからせたり、コーヒブレイク的な算数新発見ですとか、世界の割り算の表記の仕方が違うとか、算数が嫌いな子でも無理なく算数に入っていけるような、そんな印象は受けました。以上です。

委員長 次に、齋藤教育長、お願いします。

齋藤教育長 「東京書籍」を推せんいたします。

東京都教育委員会の教科書調査資料からも示されておりますが、補足的な問題が充実しており、どの児童にも確実に基礎・基本の内容を定着させることに適していると思えます。その上、習熟を図るための練習問題が、基礎が身につけている児童にも、まだまだ算数が苦手な児童にも、習熟の度合いに合わせてバランスよく示されています。本区の算数の少人数指導、習熟度別指導におきまして、そういう意味では使いやすいのではないかとこのような感じを受けます。

委員長 全ての委員が「東京書籍」をあげられましたので、算数につきましては「東京書籍」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、算数につきましては「東京書籍」といたします。

次に、理科についてご意見をいただきます。

まず、窪木委員からお願いします。

窪木委員 私は、「大日本図書」を推せんしたいと思います。

理由につきましては、甲乙つけがたい点があったのですけれども、単元の導入で使う資料が見開き2ページを使って、イラストや写真がダイナミックに示されていることで児童が学習に興味を持ったり、児童自身から疑問や不思議さが出てきやすい構成になっていると思いました。また、各単元の問題解決の学習のプロセスがしっかり押さえられていることで、児童が主体的に実験に取り組める内容になっている点もよいと思いました。以上です。

委員長 次に、鈴木委員、お願いします。

鈴木委員 「大日本図書」を推せんします。

季節の変化に気づかせる学習、季節ごとの学校と周辺の写真が定点観察できるように掲載されています。また、学校を中心とした写真であり、都心部の本区においても使いやすく、自然観察から科学的な見方を学べる教科書だと思います。科学者の写真や業績を掲載しておりますし、科学に関する興味、知識を広げたり、科学的な職業への憧れにつながる点が期待できる点もよいと思いました。以上です。

委員長
竹田委員

次に、竹田委員、お願いします。

私も「大日本図書」のものを推せんします。

一般的に理科離れなどということがよく指摘されますけれども、実際に、残念なことに国際学力調査などで結果が安定しない面があります。長い目で見ると、産業界とか経済界からの要請として理科教育の強化というものが望まれているところであり、今後のことを考えると、高校や大学でプログラミングが例えば必修的な位置づけになっていく可能性もあるのではないかと思います。そうした点も考えると、小学校の段階で理科の内容について素朴な興味といったものを持ち続けてもらって、とにかくアレルギーが生まれにくいようにすることも重要ではないかと思います。その意味においては、他社のものと比べて大日本図書のものが、学習内容のバランスがよく、同時に構成やレイアウトのメリハリがきいていて、子供が自発的に考えることを促す部分も多く見られると思いました。

具体的には、3年生の初めに、ゴムや風力の実験があって、これが本区の教育センターで学習する実験教室に合っているという指摘がありますけれども、他区と同様に、本区でも公的なもの、あるいは民間の理科の体験スクールみたいなもの、実験教室みたいなものに参加している児童がたくさんいますけれども、教室の外で行うこととあわせて、理科が好きになるというような方向に持っていける内容として、大日本図書のものがないのではないかと思います。以上です。

委員長
齋藤教育長

次に、齋藤教育長、お願いします。

「大日本図書」を推せんいたします。

調査委員会の報告にも取り上げられておりますけれども、観察や実験で安全に配慮している点、あるいは予想を立てて疑問を追求していくという形で学習を進められている点などが、問題解決学習としてよいと思いました。竹田委員からもありましたが、本区の教育センターを活用する関係で、初めて理科を学習することになる3年生の1学期で、ゴムや風力を扱った実験があるというのは、連携がしっかり整っているといった、そういった点が見られると考えています。以上です。

委員長

全ての委員が「大日本図書」をあげられましたので、理科につきましては

「大日本図書」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、理科につきましては「大日本図書」といたします。

次に、生活についてご意見をいただきます。

まず、鈴木委員からお願いします。

鈴木委員 「大日本図書」を推せんします。

写真や絵を多く使っていますし、児童の活動をイメージしやすく工夫されています。2年生の「まちたんけん」の地図は、作り方が示されており、実際つくってみたくなるような工夫があり、3年生の社会につながる流れになっているところがとてもよいと思いました。交通安全や防犯、地震対策にも十分配慮をされています。また、バスや電車に乗車中の際のマナーがわかりやすく示されており、都心生活や特認校の制度がある本区の児童は実感を持てるのではないかと思います。以上です。

委員長 次に、竹田委員、お願いします。

竹田委員 私も「大日本図書」のものを推せんします。

今、鈴木委員のお話にもありましたように、「まちたんけん」のところと絵地図のところは最もすぐれていると感じました。地域的な特性として、本区の場合、商業地域での体験学習が極めて多くございます。そういった学習に向いていると感じました。理科と同じで、子供の自発的な興味を喚起することがとても重要だと思いますが、大日本図書のものはビジュアル、レイアウトの点でも大胆で、とてもよいと思いました。それから、いい意味で文字が少ないということです。説明し過ぎていないというのも児童に嫌気を起こさせないといった点で評価できるのではないかと思います。以上です。

委員長 次に、窪木委員、お願いします。

窪木委員 私も「大日本図書」を推せんします。

理由は、わずかな差かもしれませんが、写真の使い方が効果的であり、かつ斬新であったり、児童が楽しく活動したくなるような写真が多くあると思いました。特に、写真が見開きで大きく取り扱われており、その写真から、児童が自然や人々の活動について具体的なかかわりや関心を持って学習活動に取り組めるだろうという点や、吹き出しの説明も自然な言葉遣いとなっており、気づきにつなげることができるのではないかと思う点がよいと思いました。以上です。

委員長 次に、齋藤教育長、お願いします。

齋藤教育長 「大日本図書」を推せんします。

この教科書では、まちの人や家族などの身近な人々とのかかわりを繰り返

し取り上げ、児童の興味を持たせている点がよいと思います。また、自然や生き物の資料、写真が豊富で、触ったり、見たり、匂いをかいだりなどのいろいろな感覚を使った活動や体験を重視しているところもよいと思います。以上です。

委員長 全ての委員が「大日本図書」をあげられましたので、生活につきましては「大日本図書」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、生活につきましては「大日本図書」といたします。

次に、音楽についてご意見をいただきます。

まず、竹田委員からお願いします。

竹田委員 私は、「教育芸術社」のものを推せんいたします。

いろいろな評価ポイントがあるとは思いますが、個人的にはやはり全体として色使いやデザインが落ち着いていて、刺激が、これは相対比較ですが、強過ぎない。それによって児童が楽器を使った学習や歌唱に集中しやすいのではないかと思われまます。全体として、学習内容が6年間を通じて俯瞰的な視点から構成されているという点もよいのではないかと思いました。音楽教室での体感的な授業を通じて教員が児童の音楽能力を伸ばす上で、使いやすい教科書ではないかと思ひます。以上です。

委員長 次に、窪木委員、お願いします。

窪木委員 私も「教育芸術社」を推せんします。

竹田委員も言われておりましたとおり、全体を通して色調がやわらかく、落ち着いて見やすい教科書のつくりになっていると思ひます。取り上げている題材も適切な分量で、児童にとっても無理なく学習を進められるのではないかと思ひます。また、「学習のめあて」が見開きページの左上に黒文字で統一して、見やすく示されており、児童が毎時間の授業で学習する見通しが持てる、わかりやすい構成になっていると感じました。以上です。

委員長 次に、鈴木委員、お願いします。

鈴木委員 「教育芸術社」を推せんしたいと思ひます。

楽譜が大きくて見やすいと思ひました。特に、低学年の音やリズムをとる学習では、題材をわかりやすく示して、児童は取り組みやすいのではないかと感じました。それから、学習指導要領で新たに加わった「音楽づくり」は、苦手意識を持つ児童も出ると思ひますが、この教科書は、「音楽づくり」の学習では学年ごとに段階を追った音楽活動の工夫や音楽をつくる楽しさが各ページに感じられる構成で、児童たちが協力して、楽しみながら音楽学習ができるのではないかと思ひました。以上です。

委員 長 齋藤教育長、お願いします。

齋藤教育長 「教育芸術社」を推せんします。

各学年で、歌、器楽、音楽づくり、鑑賞などを学習する単元が、6年間を通して系統立ててつくられており、発達段階に応じて指導計画を立てやすく、児童にとっても音楽活動に取り組みやすいと感じます。共通教材以外でも、「うたいつごう日本の歌」として、全学年を通して二、三曲ずつ紹介されています。これらの曲には、日本語の語感や美しい情景を生かした曲が取り上げられていますので、味わいながら学習ができ、日本の心が大切にされているところがよろしいかと思えます。以上です。

委員 長 全ての委員が「教育芸術社」をあげられましたので、音楽につきましては「教育芸術社」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員 長 ご異議ないものと認めます。よって、音楽につきましては「教育芸術社」といたします。

次に、図工についてご意見をいただきます。

まず、窪木委員からお願いします。

窪木委員 私は、「日本文教出版」を推せんしたいと思えます。

この教科書は、「造形遊び」の単元では、本区で活用が容易な材料や場所などが示され、また本区の児童の生活圏内でイメージしやすい制作活動について取り上げられてもおり、本区に合っていると思えました。また、鑑賞の学習では、画家や彫刻家の作品を自分の体を使って同じポーズをとるという、活動から体で作品を味わったり、名作から感じたことを伝え合うというような活動にしたり、工夫が見られてよいと思えました。以上です。

委員 長 次に、鈴木委員、お願いします。

鈴木委員 「日本文教出版」を推せんしたいと思えます。

見開きページに、単に完成された作品例を掲載しているのではなく、作品づくりのヒントや材料、用具の扱いが多く示されていて、児童が感性を働かせて想像やイメージを広げやすいと思えました。また、写真の使い方がよく、製作する児童のプロセス、生き生きとした表情や夢中になって製作している様子が載せられていて、わくわくしながら製作したい気持ちになるのではないかと思えました。写真、作品例、説明が多くて創作のイメージが湧きやすく、児童の感性が養われるような構成である点も大変よいと思えました。以上です。

委員 長 次に、竹田委員、お願いします。

竹田委員 私も「日本文教出版」のものを推せんします。

かなり迷ったのですがけれども、工作の制作事例の具体的な題材が本区の児

童の生活環境にフィットしたものが多いというのは、確かに評価できる点だと思いました。

ただ、ちょっと迷った部分というのは、作品例の種類、個性的で完成度が高い作品例が多く載せられているのは他社のもので、どちらかという和日本文教出版のものは創作手順を丁寧に載せているという違いがあると思います。個人的には、図画工作の場合、技術や技法のプロセスを教科書で余り事細かに示す必要はないのではないかと思います。ただ、実態としては現場の教員の指導力に個人差があるというのは確かですので、木の型取りの例などは象徴的だと思いますけれども、プロセスまで丁寧に載せないといけないというのは仕方ないと考えました。その点で、日本文教出版のもののほうがよいと考えました。以上です。

委員長 次に、齋藤教育長、お願いします。

齋藤教育長 「日本文教出版」を推せんします。

この教科書は、全学年が見開き2ページで示されていて、その中にいろいろなアイデアや途中の製作過程が取り上げられています。製作への発想を広げていく工夫があり、児童が作品づくりに取り組みやすくなっているものだと思います。また、校内展覧会や美術館での鑑賞、各地の民芸品を取り上げているページがあります。表現することの楽しさを味わえる点がよいと思いました。以上です。

委員長 全ての委員が「日本文教出版」をあげられましたので、図工につきましては「日本文教出版」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、図工につきましては「日本文教出版」といたします。

次に、家庭についてご意見をいただきます。

まず、鈴木委員からお願いします。

鈴木委員 「開隆堂出版」を推せんします。

単元名と「学習のめあて」を同じページに示している。また、見開きページを効果的に活用して、作業の手順がわかりやすい形でレイアウトされている。そういうところがいいと思いました。あとは「家族や家庭」、「衣食住」、「消費・環境」の内容がページごとにインデックスの形で色分けがされており、学習のまとまりが一目でわかる、扱いやすいと感じました。調理に関する単元については、調理の仕方だけでなく食物アレルギーの内容、また伝統料理、家庭で実践できる料理を多く取り上げていて、食育の観点からも充実していると思います。以上です。

委員長 次に、竹田委員、お願いします。

竹田委員 私も「開隆堂出版」のものを推せんします。

本区の場合、児童の生活環境が高層・大型の集合住宅が多かったり、あるいは古くからの密集した市街地、商業地域が多かったりということで、都市性が極めて高いということがあると思いますが、その点で開隆堂出版のものは、例えばエネルギーであるとか資源、消費、リデュース、リサイクル、リユースなど循環型の社会にどう対応していくかということについて、児童が学習すべき部分が非常に充実しているというふうに感じました。同様に、地域性を考えた場合にやはり重要になってくる防災教育についても、内容構成として必要十分かつ子供が日常生活とリンクして学習できる工夫が施されていると思いました。以上です。

委員長 次に、窪木委員、お願いします。

窪木委員 私も「開隆堂出版」を推せんします。

理由は、単元の導入部分の写真が楽しそうで、生き生きとした活動場面が示されており、学習意欲が湧いて、興味を持って学習を進めていくことができるのではないかと思います。また、家族で話し合っつくる「安全マップ」の記載など、防災に関連する内容も充実しており、本区の児童が作成している「通学路安全マップ」との関連からも、本区の実態に合っていると思いました。以上です。

委員長 次に、齋藤教育長、お願いします。

齋藤教育長 「開隆堂出版」を推せんします。

この教科書は、衣食住について学期ごとに順番に繰り返して学習する構成となっており、着実に基礎・基本の内容を押さえられると思います。単元の配列も、本区の学校の3学期制に合っていて、ミシンの学習を2学期に行う単元構成になっているので、全校が参加する1月の作品展にその学習成果が発表できるのもよいと思います。本区は、家庭科専科教員がほとんどいないので、担任の教員が指導計画を立てやすい単元構成がよいと思います。以上です。

委員長 全ての委員が「開隆堂出版」をあげられましたので、家庭につきましては「開隆堂出版」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、家庭につきましては「開隆堂出版」といたします。

次に、保健についてご意見をいただきます。

まず、竹田委員からお願いします。

竹田委員 私は「東京書籍」のものを推せんいたします。

全般的には余り他社のもので差がないものもあったのですが、私が重視し

たのは、生活習慣病の予防、それから喫煙・飲酒の害、それから薬物乱用の問題について、こういった現代性が高い項目について、東京書籍のものはポイントが絞れていて、非常にわかりやすく説明されていると思いました。限られた単元、時間でこうした啓蒙性が高いものを教室で指導していくには、東京書籍のものがすぐれているのではないかと思います。以上です。

委員長 次に、窪木委員、お願いします。

窪木委員 私は「学研教育みらい」を推進します。

理由は、資料が多く、学習内容をイメージしたり、実生活を振り返ったりする上でヒントになる点が多いと評価できると思ったからです。また、教科書に直接記述できるスペースが多く、書くことによって学習を深められるのではないかと、こういうことも評価した点です。以上です。

委員長 次に、鈴木委員、お願いします。

鈴木委員 「学研教育みらい」を推せんしたいと思います。

4年生の「おとなに近づく体」の単元で、体操着を着た写真を使って、子供と大人、男女の体つきについて、違いや変化を児童が発表し合う箇所がありますが、実際の水着を着た写真や裸の男女のイラストでは視覚的に強調され過ぎるために、あえて着衣の写真を用いているものだと思います。いろいろな感じ方の児童がいる中で、資料のイラストや写真の表現の方法が配慮されているところが幾つもあって、安心感を持って学習が行えるのではないかと思います。以上です。

委員長 次に、齋藤教育長、お願いします。

齋藤教育長 「学研教育みらい」を推せんします。

この教科書では、基礎的な学習内容を具体的に例示しながら、まとめられている点がよいと思います。特に、3・4年生では、毎時間の内容が見開きページにまとめられて、児童の学習の見通しが持ちやすいと思います。また、日常生活にかかわる「かがくの目」が各単元に入っており、児童の関心を高める期待が持てます。さらに、単元のまとめでは、発達段階に応じて身近な生活に関する内容が多く載せられている点も評価しております。以上です。

委員長 3名の委員の方が「学研教育みらい」をあげられましたので、保健につきましては「学研教育みらい」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、保健につきましては「学研教育みらい」といたします。

以上で、各教科の審議が終了いたしました。

これで日程第4、中央区立小学校において平成27年度から使用する教科書の採択についての審議を終了いたします。

齋藤教育長 委員長、議事運営について、動議を提出いたします。

各教科ごとの審議が終わりましたので、「中央区立小学校において平成27年度から使用する教科書の採択」について、追加議案を提出したいと存じます。

また、中央区立小学校の特別支援学級で使用する教科書及び中学校の特別支援学級で使用する教科書の一部につきましては、ただいまの審議結果を踏まえた教科書を使用することになりますので、あわせて「中央区立小学校及び中学校の特別支援学級において平成27年度に使用する教科書の採択」について、追加議案を提出したいと存じます。

事務局において議案を作成いたしますので、暫時休憩をとっていただけるようお諮り願います。

委員長 ただいまの動議について、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。

それでは、暫時休憩し、議案ができ次第、委員会を再開することといたします。

ここで休憩といたします。ただいま3時ですから、3時15分に委員会を再開いたします。

暫時休憩に入ります。

(休憩)

委員長 休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

ただいま席上配付いたしました追加議案のとおり、2件の議案が教育長から提出されましたので、本日の日程に追加し、追加日程第1、議案第31号、追加日程第2、議案第32号を議題といたしたいと存じます。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。

それでは、追加日程第1、議案第31号、追加日程第2、議案第32号につきましては、関連がありますので、一括して議題といたします。議案をそれぞれ書記、朗読願います。

(書記朗読)

委員長 それでは、次長から、それぞれ提案の説明をお願いします。

次長 議案第31号「中央区立小学校において平成27年度から使用する教科書の採択」について

議案第32号「中央区立小学校及び中学校の特別支援学級において平成27年度に使用する教科書の採択」について、それぞれ提案説明。

委員長 ただいまのそれぞれの説明について、ご質問等ございましたらお伺いいたします。

私から1点確認をしますが、小学校の支援学級の、例えば保健ですか、これは今回審議した関係で「学研教育みらい」を使うということですね。ほかに図工や音楽などは変わらないのですか。

指導室長 小学校の支援学級2校においては、来年度からは今回採択をしていただいた教科書、検定済みの教科書を使わせていただくということでございます。

委員長 ほかに質問等ございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 ご質問等ないようでございますので、順次お諮りをいたします。
議案第31号を可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、議案第31号は原案のとおり可決されました。

引き続き、議案第32号を可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、議案第32号は原案のとおり可決されました。

次に、日程第5、報告事項のうち(1)について報告願います。

副参事(教育制度特命担当)「明正小学校等複合施設一般公開の実施結果」について、資料1により報告。

委員長 ただいまの報告について、ご質問等ございましたらお伺いいたします。

(「なし」の声あり)

委員長 それでは、引き続き、(2)について報告を願います。

図書文化財課長 「中央区近代建築物調査の結果報告」について、資料2により報告。

委員長 ただいまの報告について、ご質問等ございましたらお伺いをいたします。

(「なし」の声あり)

委員長 それでは、引き続き、(3)について順次報告を願います。

学務課長、指導室長、図書文化財課長 意見・要望について、資料3によりそれぞれ報告。

委員長 ただいまのそれぞれの報告についてご質問等ございましたら、お伺いいたします。

(「なし」の声あり)

委員長 ご質問等ないので、これで本日の日程は終了いたしますが、委員の方からご意見等がございましたら、お伺いいたします。

(「なし」の声あり)

委員長 それでは、ご意見等ないので、これで本日の委員会を閉会いたし

ます。

午後 3 時 3 6 分 松川委員長閉会宣言
署名委員